

國語

## 解答と解説

(配点)

|                              |         |
|------------------------------|---------|
| ①〔問二〕各2点、〔問六〕各3点、〔問七〕7点、他各5点 | } 計150点 |
| ②〔問二〕各2点、他各5点                |         |
| ③④⑤各2点                       |         |

|    |   |    |   |    |   |    |   |    |     |    |    |
|----|---|----|---|----|---|----|---|----|-----|----|----|
|    |   | 5  |   | 4  |   | 3  |   |    |     |    |    |
| ⑥  | 半 | ①  | 相 | ①  | ウ | ①  | 後 | 問八 | セ   | 問四 | 意  |
|    | 値 |    | 談 |    | ② |    | 退 |    | ン   |    | 識  |
| 65 |   | 60 |   | 55 |   | 50 |   |    | サ   |    | の  |
| ⑦  |   | ②  |   | 56 | 才 | ②  |   |    | 丨   |    | 対  |
|    | 銭 |    | 警 |    | ③ |    | 安 | 46 | 問九  |    | 象  |
|    | 湯 |    | 告 |    | ア |    | 全 |    | イ   | 42 | 問五 |
| 66 |   | 61 |   | 57 | ④ | 51 |   | 47 | 問十  |    | ウ  |
| ⑧  |   | ③  |   | 58 | イ | ③  |   | 48 | ウ   | 43 | 問六 |
|    | 傷 |    | 雑 |    | ⑤ |    | 供 | 49 | 問十一 |    | エ  |
|    | 病 |    | 穀 | 59 | 工 | 52 | 給 |    | イ   | 44 | 問七 |
| 67 |   | 62 |   |    |   | ④  |   |    |     |    | ア  |
| ⑨  |   | ④  |   |    |   |    | 親 |    |     |    |    |
|    | 奮 |    | 吸 |    |   |    | 密 |    |     |    |    |
| 68 |   | 63 |   |    |   | ⑤  |   |    |     |    |    |
| ⑩  |   | ⑤  |   |    |   |    | 質 |    |     |    |    |
|    | 破 |    | 温 |    |   |    | 素 |    |     |    |    |
| 69 |   | 64 |   |    |   | 54 |   |    |     |    |    |
|    |   |    | 暖 |    |   |    |   |    |     |    |    |

【解説】

1 早見和真の『問題。以下の文章を読んで、家族の幸せの形を答えなさい』（朝日新聞出版）から出題しました。

中学受験に向けて勉強している小学六年生の十和は、ゴールデンウィークに一人で出かけた大阪で、母方のおばあちゃんから、母が小学生のころ中学受験のために勉強していたこと、直前で受験をやめたしまったことを聞きます。当時の母の志望校は、難関校である星蘭女学院中学校でした。その学校に興味を持った十和は学校の近くへおばあちゃんに連れて行ってもらい、外から見た学校の雰囲気魅了されます。思春期で家族と離れてみたい気持ちが高まっていたこともあって、十和は星蘭女学院を第一志望にすることを決意します。その後、夏期講習が始まったところから本文が始まります。

問一

B1 理由 比較

線①「うっかり笑ってしまった」の直前に「自分の意識の変化に」とあります。前書きに書かれているように、十和は受験に対していまいち本気で取り組めない日々を過ごしていました。それが、勉強時間を気にすることなくなり、息切れも飽きもせず取り組めるようになって、さらには時間をもっとあれば、とまで考えるようになっていきます。このように自分の気持ちや取り組み方が劇的に変化したことについて「うっかり笑ってしまった」のです。以上のことから、エが正解となります。ア「勉強だけしている今より充実した生活が送れる」、イ「楽観的に構える」、ウ「非現実的な方法に頼って」がそれぞれ誤っています。

問二

B1 関係づけ 比較

適当な副詞を空らんに入れる問題です。

i この場で、十和は父と直接会話をしているわけではありません。体調が悪そうな父の様子を見ながら、頭の中でなんとなく考えていることが描かれています。したがって、オ「ボンヤリ」が入ります。

ii 合格体験記の冊子を渡された父が文集をめぐっていく様子が書かれています。しゃべりながら文集をめぐっている様子から、それほど真剣に読みこんでいるわけではないということがわかります。以上のことから、ア「パラパラ」が入ります。

iii 合格体験記に綴られた卒業生たちの体験記が、だいたい「僕はこんなふうに壁を乗り越えてきた」「お父さん、お母さん、先生ありがとう」という二つのパターンにわかれているという話が書かれています。したがって、ウ「ぎっくり」が入ります。

問三

B1 具体化 関係づけ

前書きに書かれているように、十和は東京在住ですが大阪にある星蘭女学院中学校を第一志望として受験を進めています。希望通り第一志望の学校に合格した場合、十和はおばあちゃんの家から学校に通うことになっており、父とは東京と大阪で離れて暮らすことになります。十和は父から見て「可愛くて仕方がない娘」であり、少なくとも父の方は離れて暮らすことを望んでいないことがわかります。直後の「進

学し」という表現も合わせて考えると、ここには「星蘭女学院中学校」が入ることになります。学校名は八字なので条件に合いません。九字という字数の条件も合わせて考えていくと、4ページ下段に「大阪の私立の女子中」という表現が見つかります。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

#### 問四

##### B1 具体化 比較

——線③をふくむ一文を確認すると、「志望校はおろか勉強にまったく身の入らない状態であっても、目を通しているのは楽しかったし、思うことも少なくなかった」とあります。十和が合格体験記を読んで、卒業生たちと自分を重ね合わせ、いくらかでも前向きな気持ちになっていることがわかります。以上のことから、ウが正解となります。アやイでは、合格体験記を読んだだけで起こる反応としては前向き過ぎるでしょう。

#### 問五

##### B1 具体化 比較

合格体験記が見事に前向きな二つのパターンにわかれるということと「『僕は最後まで勉強をがんばりませんでした』パターンや、『お父さん、お母さんを憎んでいます』パターンが少しはあってもいい気がする」という表現を考え合わせると、十和は合格体験記の内容について、書かれていることは立派だがどれも内容が似通っていると考えていることがわかります。これは、父の「なんかみんな立派だよ」という発言にも通じています。したがって、ウが正解となります。ア「い

まいががんばれていない十和の参考にはならなさそう」、イ「成長した様子がよく表されている」、エ「後ろ向きな気持ちが書かれていないためつまらない」がそれぞれ誤っています。

#### 問六

##### A2 知識 比較

語句の意味を答える問題です。辞書の意味をもとにして、文章中の意味をとらえましょう。本来の辞書的な意味から外れている選択肢が答えになることはありません。両方を満たしている選択肢を探すようにしましょう。

⑤ 「まんざらでもない」で、それほど悪いわけではない（むしろよい）という意味を表します。クラス委員に推薦されたときなどに、表向きはいやがっているように見えるが、本心では喜んでいるような場合に使われます。したがって、ウが正解となります。

⑧ 「かぶりを振る」で、頭を左右に振って否定や拒否、承認しない気持ちを表す表現です。したがって、アが正解となります。

#### 問七

##### B2 具体化 推論

「これみよがし」は、相手に見せつけたり当てつけたりするような態度をとる、という意味です。ここでは、父が十和の言ったことが完全に間違っているということを印象づけようとして、わざとらしく息を吐いています。

の後に「十和の誤解」とあることから、父が十和の発言のどの部分を「誤解」だととらえているかをつかましましよ

う。この後で「中学受験なんかでは人生の何も決まらない」「人生はそんなに甘いものじゃない」と言っていることから、十和の「この子はこれから順風満帆なわけでしょ？ 人生安泰っていうか」が父から見た「誤解」であることがわかります。

「この子」は合格体験記の田中健太郎くんを指していますが、彼は受験した四校すべてに合格し、進学を明言している学校は東京に住む十和でも名前を聞いたことがあるような有名な学校です。以上のことから、「中学受験でいい結果を収めること」「この後の人生が順風満帆で安泰なものになる」という内容を盛りこんでまとめるようにでしょう。

※設問の指示や字数・文字指定に従っていないものは不正解とします。ただし、誤字脱字が一つの場合は減点1点、二つある場合は減点2点、それ以上は不正解とします。また解答の説明に過不足がある場合は減点2点とします。

## 問八

### B1 具体化 比較

——線⑦の後で十和は「おかしいっていうか、キレイ事だと思う」と言っています。キレイ事とは、実情にそぐわないのに表面だけ取りつくりつたものの言い方を指す言葉です。父は「たかが中学受験くらいじゃ何も決まらないし、定まらない」と言っていますが、実際に受験に向けて勉強をしている十和からすれば、自分だけでなく周りのみんなが苦労して勉強しているのに、その結果である合否についてどうでもいい、大した影響があるものではない、と言われるのは納得がいかないのです。このことは、十和の「じゃあ、私はなんのためにこんなに勉強してるのよ？ わからなくなっちゃうんだけど」という発言によく表れています。以上のことから、

イが正解となります。ア「これから先あらゆることに後悔せずよい人生を送ることが可能になる」、ウ「無理をせず自分に合った勉強をするべき」、エ「わざわざ中学受験の価値を下げするような発言」がそれぞれ誤っています。

## 問九

### B1 関係づけ 比較

ここまで、父は再三「中学受験なんかじゃ何も決まらないよ」とくり返しています。難関校に行ったおかげで、すなわち受験がうまくいったことがきっかけで幸せな人生を切り拓ける人もいるだろう「けど」、という形に注目すると、これに続く⑨には、対照的に「受験がうまくいかなかったこと（こそ）が豊かな人生のきっかけになった」という内容が入ることがわかります。したがって、アが正解となります。イ・ウ・エの内容は、「けど」と対応した表現になっていません。

## 問十

### B1 具体化 比較

「筆圧の強い」ということは、ぐっと力を入れて書くということを表しています。人生全体でみればたった一、二行のことではないけれど、そのために自分はしっかりとがんばれた、という感覚があればその思い入れの分筆圧が強くなるはずです。父は十和にとって中学受験がそのような経験になることを望んでいるのです。したがって、エが正解となります。ア「表現技法を工夫して大げさに書く」、イ「自分の人生を間違いない決定づけた」、ウ「幸せな人生を切り拓いていくことに直結する」がそれぞれ誤っています。

② 齋藤孝『「気づき」の快感』(幻冬舎) から出題しました。

成長することにつながる「気づき」とはどういうもので、どうすれば上手に気づくことができるようになるのか、ということについて述べた文章です。

問一 B1 具体化 関係つけ

——線①の後、筆者が実際に見た「成長できる人」の例が書かれており、②に続く二つの段落でその内容がまとめられています。意識する対象になるもの、という観点で探すと、その部分で「目標を達成するための課題」という表現が見つかり、これは字数の条件も満たしています。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問二 B1 関係つけ 比較

空らんにあてはまる接続詞を考える問題です。前後の内容どうしのつながりに着目し、接続詞そのものの働きと合わせてふさわしいものを選びましょう。

《1》の直前には、成長できる人は、すべての場面で、気づきをチャンスにしている、と書かれています。また、直後には、みんなと同じ10分の練習をしたとしても、得られる効果には大きな差が生じるということが書かれています。前の内容が後の内容の理由を表していますから、イ「だから」が入ります。

《2》の直前で、成長できる人はあらゆる場面で「気づき」を得て、その後に活かしているという話がいったん終わっ

ています。《2》直後からは、「気づき」に複数の方向性があるという新しい話題に変わっています。したがって、話題を転換するエ「ところで」が入ります。

《3》の直前には、「ゴリラがいたのにお気づきですか」と聞かれた被験者が「まさか。ゴリラなんていなかったですよ」と即座に否定する様子が書かれています。これに対して直後には、もう一度同じ動画を見ると、確かに中心を堂々とゴリラが横切る様子が映っている、という内容が書かれています。前後の内容が反対になっていますから、ウ「けれども」が入ります。

問三 B1 関係つけ 比較

複数箇所の空らんにあてはまる言葉の組み合わせを選ぶ問題です。順序通りに答えを決めることにこだわらず、考えやすい空らんから答えを決めていくとよいでしょう。最終的に選んだ選択肢をそれぞれの空らんに入れ、問題なく意味が通ることも確認しておきましょう。

②の後では、成長できる人とはどのような人であるかということが述べられています。それぞれの選手によって課題は異なるはずですが、自分にとって今何が大事なのかということを理解し、できるだけわかりやすい形で意識しておくことが大切である、ということです。したがって、ここには「具体的」が入ります。

③の直前には、気づきには複数の方向性があるということが書かれています。これを受けて、エジソンが発明を行うように、何か新しいアイデアを思いつくというクリエイティブな気づき、とわかりやすい例が挙げられています。したがっ

て、ここには「代表的」が入ります。

⑦の直前には、従来の科学理論が覆<sup>くさ</sup>されて新しい理論が提案されるという例が挙げられています。以前の状態を知っている人であればこれを「すごい発見だ!」と理解することができるわけですから、ここには「画期的」が入ります。以上のことから、イが正解となります。

#### 問四

##### B1 置換

線④は、意識がバスの回数に集中するあまりに、それとは関係ないゴリラの存在が目に入らなくなったという具体例を示しています。何かに意識を集中させると、他のことは意識されなくなることです。このことは、続く段落の「この実験からもわかるように」や、その次の段落の「要するに」以降でくり返し説明されています。この部分から——線④と過不足なく対応している部分を探すと、★の五行前に「意識の対象がはっきりしているとき、それ以外の物事を意識することはできません」という文が見つかります。読点の前後それぞれの内容が——線④における読点の前後の内容と対応していることを確認しておきましょう。この範囲には「暗闇の一部をサーチライトが照らすように、私たちは物事の一部だけを知覚しています」「人間はぼんやりした意識ではなく、何かにについての意識を持っています」「人間のサーチライト(意識)は一部の対象しか照らしていません」のように、二つある要素の片方を満たす文がありますが、二つの要素を同時に満たしているのは「意識の対象がはっきりしているとき、それ以外の物事を意識することはできません」という文だけです。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

#### 問五

##### B1 具体化 比較

線⑤の次の段落に「音楽がわかる人は、ベースやドラムの音にも意識を向けることができるのです」とあります。普通であればポーカー(歌)だけに意識が向くところ、ベースとドラムにも興味を持ち、それらを意識して聞くことができる人を、筆者は「音楽がわかる人」と表現しているのです。したがって、ウが正解となります。

#### 問六

##### B1 具体化 比較

線⑥以降で筆者が説明している「気づきを得るときの条件」には二つあります。一つは、「エ」直前にある「その分野に詳しいかどうか」です。ある分野に詳しくれば詳しいほど気づきを得られるということが説明されています。もう一つも、9ページ下段で説明されています。ここでは、仕事の場で気づきが起こりにくい理由として「そこまで好きではないから」ということを挙げています。これを逆に考えると、好きなことであれば気づきが得やすいということがいえます。以上のことから、ある分野を好きになることと、その分野の知識をたくさん身につけることが、気づきを得るときの条件であるといえます。したがって、エが正解となります。ア「今後どのような変化が起こっていくかについて事前に考えておく」、イ「気づきの能力を高めるために」、ウ「一つのことだけに集中して取り組まない」がそれぞれ誤っています。



問七

**B1 具体化 比較**

職場が一つの劇場のようになると、クレーム対応のようなあまり楽しくない仕事でさえも気づきのチャンスとして受け止められるようになるということが書かれています。一步引いて全体を一度にながめるような視点が手に入ることです。したがって、アが正解となります。イ「職場が自分を中心として成り立っているような気持ちになる」、ウ「仕事への責任感が強まる」、エ「他の人がどんな仕事をしているのか」ということに興味が出てくる」がそれぞれ誤っています。

問八

**B1 関係づけ**

気づきの⑨を働かせ、という形に注目します。気づきが生じるときにどのようなものが働いているかということについては、7ページ下段に「課題を持つことでセンサーが働き、気づきの精度が上がります」と書かれています。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問九

**A2 知識 関係づけ**

⑩に入るものとしては、「説明ほど簡単にできるものではない」という内容が考えられます。これと合うものを選択肢から探すと、イが当てはまります。

問十

**B1 関係づけ 比較**

ぬけている文をもとの場所にもどす問題です。指示語や接続語、キーワードに注目して、ぬけている文と内容的に近い内容が書かれている部分を探しましょう。また、実際に文を

もどして読み直し、内容的にふさわしいかどうかを確認しておきましょう。

ぬけている文の先頭に「つまり」という接続詞があることから、「変化する前の状態をインプットしておかなければなりません」と内容的に合うものが、この文が戻る場所の直前に書かれていることがわかります。この観点で探していくと、「ウ」の直前に、以前の状態を知らなければ、変化があつてもスルーしてしまうという内容があることがわかります。

問十一

**B2 抽象化 比較**

本文の内容と合っている選択肢を答える問題です。選択肢の内容と本文のどの部分が対応しているのかを考え、必ず本文と照らし合わせて正誤を検討しましょう。

イの内容は、7ページ下段に書かれている内容と一致します。

アの内容は7ページ下段、ウの内容は8ページ下段、エの内容は10ページ下段の内容と、それぞれ合っていません。

**3**

**A1 知識**

対義語を漢字に直して答える問題です。

それぞれの組み合わせを覚えるだけでなく、どのような場面ですることができているのかということについても合わせて覚えておきましょう。



4

A 1

知識

ものの数え方（助数詞）を答える問題です。

それぞれ、その形状や使い道に合わせた助数詞が使われています。「個」以外の特徴的な数え方について、興味を持って覚えておくとよいでしょう。